

JFA 第 22 回全日本女子フットサル選手権大会

香川県大会 実施要項

1. 名 称 JFA 第 22 回全日本女子フットサル選手権大会 香川県大会
2. 主 催 (一社)香川県サッカー協会
3. 主 管 (一社)香川県サッカー協会、フットサル委員会
4. 日 程 2025 年 7 月 20 日(日)
5. 会 場 あなぶきアリーナ香川
6. 参加資格

1) フットサルチームの場合

- ① 公益財団法人日本サッカー協会(以下「本協会」とする。)に「フットサル 1 種」、「フットサル 2 種」または「フットサル 3 種」の種別で加盟登録(準加盟も含む)した単独チームであること。一つの加盟登録チームから複数のチームで参加できる。
本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、「フットサル 1 種」、「フットサル 2 種」または「フットサル 3 種」チームは、同一クラブ内で他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。なお、適用対象となる選手の年齢は「フットサル 3 種」年代のみとし、「フットサル 2 種」及びそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。
- ② 前項のチームに所属する 2013 年 4 月 1 日以前に生まれた選手であること。
女子に限る。
- ③ 外国籍選手は 1 チームあたり 3 名までとする。

2) サッカーチームの場合

- ① 本協会に「2 種」「3 種」または「女子」の種別で加盟登録(準加盟チームも含む)した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチーム(但し 2 チームまで)は参加できる。
本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、「2 種」「女子」チームは、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。なお、適用対象外となる選手の年齢は「3 種」年代のみとし、「2 種」年代およびそれ以上の年代の選手は適応対象外とする。
 - ② 前項のチームに所属する 2013 年 4 月 1 日以前に生まれた選手であること。
女子に限る。
 - ③ 外国籍選手は 1 チームあたり 3 名までとする。
- 3) 別紙「新型コロナウイルス感染防止の対応について」を確認し、必須事項を遵守すること。大会当日を含む 2 週間分の検温及び健康チェックを行い、チーム内で管理して下さい。

- 4) 引率者は、当該チームを指導し、責任を負うことのできる者で有ること
7. 競技形式 参加チームによるノックアウト方式で行う
8. 競技規則 大会実施年度の(公財)日本サッカー協会フットサル競技規則による
9. 競技会規程 以下の項目については、本大会で規定する。
- 1) ピッチサイズは、原則 40m×20m (会場によっては変更あり)
- 2) 使用球は、フットサル用公式 4 号ボール
- 3) 競技者の人数
- ① 競技者の人数 5 名
- ② 交代要員の人数 9 名以内
- ③ ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数 2 名以内
- 4) チーム役員の人数
- ① チーム役員の人数 5 名以内
- *但し通訳が試合に登録されている場合は、6 名以内とする。
- 5) 競技者の用具
- ① ユニフォーム
- ア) (公財)日本サッカー協会のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
- イ) フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ストッキング)を参加申込書に記載し、試合には正副とも必ず携帯すること。
- ウ) チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
- エ) フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および銅市のデザインで、かつ自分自身の背番号がついたものを着用すること。
- オ) シャツの前面、背面に記載された選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。背番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
- カ) 選手番号については 1 から 99 までの整数とし、0 は認めない。1 番はゴールキーパーが付けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
- キ) ユニフォームへの広告表示については、本協会の承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。
- ク) 正・副の 2 色については、明確に異なる色とする。
- ケ) 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判

断したときは、両チームの立会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。

コ) 前項の場合、主審は、両チームの各 2 組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びストッキングのそれぞれについて、判別しやすい組合せを決定することができる。

サ) その他ユニフォームに関する事項については、本協会のユニフォーム規程に則る。

② シューズ

キャンパス、又は柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材料で出来ており、接地面が紺色、白色もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの。(スパイクシューズ及び靴底が着色されたものは使用できない)

③ ビブス

ビブスについて、交代要員は競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。

④ すね当ては、着用すること。

⑤ 競技中は一切の装身具の着用を禁止し、装身具を覆うテープの使用も禁止します。

- 6) 試合時間 30 分(15 分-10 分-15 分) プレイングタイム
 *ハーフタイムのインターバルは、10 分(前半終了から後半開始まで)
- 7) 試合時間内に勝者が決定しない場合の勝者の決定方法
- ① 準決勝まで 即 PK 方式により勝敗を決定する
- ② 決勝戦 6 分(3 分-1 分-3 分)延長戦を行う。
 *延長戦に入る前のインターバルは、5 分間とする。
 決しない場合は PK 方式により勝敗を決定する。

10. 懲罰

- 1) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の 1 試合に出場できない。
- 2) 本大会期間中に警告の累積が 2 回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の 1 試合に出場できない。
- 3) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。但し、警告の累積によるものを除く。
- 4) 本大会は、日本サッカー協会が定める懲罰規程の基づき本大会に係る懲罰問題を処理するため、大会規律委員会を設置する。

11. 参加申込み

- 1) 大会登録票に記載しうる人員は、1 チーム当たり 26 名(選手 20 名、役員 6 名)を上限とする。
- 2) 参加希望チームは、大会参加確認書を下記に、E:mail で送付してください
- 3) 申込先 (一社)香川県サッカー協会 フットサル委員会 三谷宛て

E-mail : kfa.futsal.committee.2020@gmail.com

- 4) 申込締切日 2025 年 6 月 13 日（金曜日）24:00 まで
- 5) その他 選手追加及び変更登録については、規定に従い本協会に追加申請し許可を得た選手のみが出場する事ができる。
チーム名は短縮後を除き、日本語で表記しなければならない。
プライバシーポリシーについては、代表者会議に提出してください。
12. 代表者会議 2025 年 6 月 29 日（日） 18:00～
Jフット丸亀 会議室
13. 組合せ 代表者会議、抽選会
14. 選手証
各チームの登録選手は、原則として（公財）日本サッカー協会発行の選手証を持参しなければならない。但し写真貼付により、顔の認識ができるものであること。選手証が確認できない場合は、試合に出場できない。
15. 参加費
- 1) チーム参加費 ¥15,000/チーム
- 2) 振込先 百十四銀行 高松駅前出張所
普通預金 0483873
一般社団法人 香川県サッカー協会 フットサル委員会
- 3) 振込締切り 2025 年 6 月 13 日（金曜日）
- 4) 注意事項 チーム名 ATM 入力時、最初の 12 文字でチーム名が分かるようご注意ください。
例) ~~カガワケンリツタカマツ~~コウコウサッカー⇒~~タカマツ~~コウコウサッカー
もしくは、~~タカ~~コウサッカー と学校名が分かるように
16. 傷害補償
チームの責任において傷害保険に加入すること。
17. 負傷対応
競技中の疾病、傷病等の応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。
18. その他
- 1) ピッチレベルでの飲水は水のみとし、指定した場所でのみ飲水を認める。ピッチ内での飲水は認めない。
- 2) 本大会の優勝チームは、2026 年 1 月 25 日に愛媛県で開催される四国大会への参加の権利と義務を有する。
- 3) 本要項に違反と認めたチームについては、本大会運営委員会の決定に従うこと。
- 4) 本大会に参加するための必要経費は、全額参加チームが負担すること。
- 5) 本大会期間中の練習、競技中の怪我、会場備品等の賠償等が生じた場合は、自チームで責任を負うこととし、主催者、施設側への責任を一切追及しないこと。

- 6) 熱中症対策については、ガイドラインに沿って「Cooling Break」や「飲水タイム」を設定するが、その適用については、試合時間など状況を考慮して主催者側で協議の上、決定する。
- 7) この要項の、記載事項については今後の感染症の状況等により変更することがある。